

〈喫煙室〉※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

統計課の人事異動

平成4年4月1日付けて、次のとおり異動がありました。(敬称略)

〈転入者〉

職名	氏 名			転入先
課長補佐 (総括)	川	崎	定	信
課長補佐	中	村	富	藏
課長補佐	中	沢	勝	利
主任	高	丸	忠	雄
主任	吉	井	正	明
主任	藻	垣	功	夫
主任	中	田	考	宣
主任	久	富	義	信
主任	阿	久	津	修
主任	小	林	里	香
主任	石	原	均	新採
主任	福	永	幸	新採

〈転出者〉

転出先	職名	氏名			
鹿島用地事務所	所長	佐	竹	高	宜
鉾田地方福祉事務所	福祉課長	中	根	文	康
日立港湾事務所	庶務課長	原			健
議事課(議会事務局出向)	係長	生	田	目	陽
商業振興課(中小企業振興公社出向)	係長	齋	藤	弘	毅
霞ヶ浦流域下水道事務所	係長	大	吉	正	巳
医療福祉課	主任	榎	戸		務
松丘高等学校(教育委員会出向)	主任	高	萩	浩	三
環境管理課	主任	橘		秀	幸
水産振興課	主任	高	星	昌	記
県西地方総合事務所	主任	海	老	根	信
鹿行地方総合事務所	主任	木	内	規	水

新人のプロフィール

新たに統計課勤務となられた方々に、自己紹介を兼ねてご執筆いただきましたので
ご紹介いたします。



関東5県野球大会で優勝!!

課長補佐(総括) 川 崎 定 信

この4月、鹿行地方総合事務所から統計課勤務になったばかりの私ですが、赴任して早々の5月9日、とても感動的な経験をし、課員の皆さんと共に喜びを分ちあいました。

前橋市で開かれた統計課職員の関東5県野球大会で4年ぶりに優勝したのです。

この大会は、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉の5県で構成し、統計職員の親睦と日頃内業が多いことから屋外スポーツを通して、健康増進を図り、円滑な業務の推進を図る事を目的に、昭和43年に発足し、今年で25回目を迎える伝統ある大会なのです。

本県は、昭和63年に優勝してから優勝がなく、
今度こそはと練習に励み、意気込んで会場に行きましたが、天候がはっきりせずヤキモキ。しかし、
全チームが揃い、天気も持ちそうだという事で、
若干遅れて開始されました。

試合は、栃木県、群馬県を思ったより順調に破って勝ち進み、決勝は千葉県とぶつかりました。

しかし、この試合も早い回の得点がものを言い、18：5で快勝し、4年ぶりの優勝となりました。

表彰式直後、松本監督を胴上げし、喜びは頂点に達しました。

ちなみに、本県は25回大会のうち11回優勝して
勝率は44%，栃木は8回で32%，群馬、埼玉はそ
れぞれ3回で12%ずつ、千葉は0回という結果に
なりました。

県庁も近年入庁する若い職員の野球離れはひどく、スポーツはゼロか、やってもテニスとかスキーやがが多く、かっこよさを求める、団体スポーツをやる職員はほとんどいません。

しかし、県では毎年各課対抗のスポーツ大会があり、野球、バレーも盛んで、これらの未経験者を特訓し、試合に臨んでいるところです。

野球は、5月中旬から84チームが参加して開幕しますが、今年は、今回の5県野球大会の優勝をバネに、上位入賞(優勝?)を目指してがんばってほしいものです。



統計課勤務になつて

普及指導担当課長補佐
中 村 富 藏

4月の定期異動で統計課へ勤務することになりました。初めての経験であり、よろしくお願ひいたします。

県職員歴は長く、主に、会計事務に携わってきましたため、統計事務は、今回が初めてであり、1日も早く統計という業務を理解できるよう、しっかりと勉強してまいりたいと考えております。

〈喫煙室〉

まだ、1か月余であり仕事の内容については、具体的に理解を得ていませんが、ただ、非常に大切で重要な業務であることは、自分なりに理解した気がします。

以前に、私が団地住まいをしていたとき、国勢調査の調査員を2回(昭45・50年)お引き受けしたことがあります。その当時は、まだ統計調査環境も良かつたためか、住民の方々の協力により、調査も無事スムーズに終了させることができました。

しかし、現在は、プライバシーの問題とか、あるいは、不在がちの世帯などで、実際に現場で調査に当たられる統計調査員の方々が、ご苦労なされていることを聞かされますと、やはり、世相の移り変わりというものを考えさせられます。

最後に、私の担当する普及指導グループは、統計大会、研修会、刊行物の発行等を指導し、市町村、民間団体、企業等からご協力をいただくことがありますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



私の「ウェル・エイジング」

商工農林担当課長補佐
中沢 勝利

このたびの定期異動で常陸太田地方福祉事務所から統計課にまいりました。どうぞよろしくお願ひします。

アッという間に五十路を過ぎた。まだ先が長いと思うが、こればかりは神のみぞ知る。平均的余

命からすれば老後は長い。老後を生きがいをもつて、ボケず寝込まず暮らしていくにはどうすればよいか。若いうちから心しておくとよいという。

統計としては出でていないが、現代の難病が蔓延しているという。「濡れ落葉症候群(定年退職後の男が罹りやすい)」とか、「空巣(からす)症候群(40代後半から、子育ての終った女性が罹りやすい)」がそれである。この難病に罹らないようにするには、「生きがいと趣味」がポイントのようだ。

私は日ごろ、三つの趣味を持てれば理想ではないかと思っている。一つは、体を動かす趣味。二つは、頭を使う趣味。三つは、精神を統一する趣味である。私の場合は、ゴルフに囲碁に写経かな、いや、写経はまだ先のようだ。最近、パソコンを始めたが、これも脳の刺激になるようだ。妻は陶芸と一緒にやろうと言っている。また、先日は料理の本を3冊買った。日本料理編、西洋料理編、中華料理編である。妻は「私の腕前をバカにして!」と怒っている。そうではないのだ!、いつ妻に先立たれるかわからない。「自分のメシは自分でつくる」つまり「自立」したいのだ。あまり並べ立てると「三日坊主」と言われそうなので、この辺で止めておく。



雑感

消費生活担当主任
高丸 忠雄

国においては今年の5月から公務員の完全週休2日制が導入された。茨城県においても間もなく

〈喫煙室〉

導入されるだろう。日本人はとかく欧米から「働きバチ」と中傷され、また確かに各国より労働時間が多いこと等から考えれば歓迎すべきことである。加えて私のように仕事第一主義でない者にとっても非常に喜ばしいことである。

それは、自分の自由となる時間が以前より増え
ることである。寝そべりながらテレビを見る、パ
チンコに精を出す、ゴルフ練習場に通う(貧乏で
あるためコースは無理)、又は雑誌を見る等々。こ
れはこれまでの私の日曜日の平均的な過ごし方で
あった。休みが1日しかないのだからしかたがな
いと思っていたが、これからはこの時間をもっと
有効に使わなければ悔いが残るだろう。

これから的人生の中でこの2日間の時間のウエイトは大である。そして、この余暇の過ごし方をいかに有意義なものにするかが非常に重要な課題となろう。それは生涯熱中できるもの有何か見つけることであり、それがたとえばスポーツであっても、趣味・教養であってもよいと思う。

3月までお世話になった前課では、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業なるものがあったが、まさにこれは高齢者だけに必要というものではなく、若い年代の時から考えなくてはいけないことなのである。私もこれからずっと自分の人生の「生きがい」「健康づくり」はこれだと言えるようなものを一つでも多く見つけ出したいと思っている今日この頃である。



次の一手

人口労働担当主事 吉井正明

このたびの定期異動により、統計課に勤務することになりました。どうぞよろしくお願い致します。

前の職場の財団法人茨城県教育財団(教育庁総務課)では、埋蔵文化財部に籍を置き、遺跡の発掘調査に係る契約事務及び経理を担当していました。先人達の暮らしを調査記録すべく、気持ちはいつも、地面の下へ。新聞を読んでいても、目ざとく「発掘」とか「遺跡」という文字を見つけ、自分でうなずいていました。

統計課では、人口関係を担当しますが、前月の集計が主で数字に追われる自分が見えるようです。

個人的には自分は多趣味で、いろいろなことに興味を持っています。「広く、浅く」をモットーに自分の納得がいければそれでいいという自分からてな趣味なのですが。少数派の深い趣味に、テニスと将棋があります。テニスは、サーブがねらいどおり決まることと、ボレーがコーナーに決まることが、何回やっても爽快で、将棋は、詰みを読み切ったときと、自分の読みどおりに相手が指すことに満足感が得られ、飽きが来ません。

将棋では、先を読むということが、勝負を左右します。自分の指した一手に相手がどう指すか、

〈喫煙室〉

次の一手を読むことが大切なのです。

統計とは、実態を把握し、先に活かすことだと思います。次の一手にどう活かせるか、自分の先の生活にどう活かせるか、努力理解していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



大相撲への期待

分析情報担当主事

藻垣 功夫

横綱北勝海が満身創痍のなか引退を決意した。これで1年前には、千代の富士、北勝海、大乃国、旭富士と4人いた横綱がすべて姿を消したことになる。横綱不在で場所を迎えたのは、実に60年ぶりということできびしい限りである。

近年若・貴ブームで、大相撲人気はうなぎ登りであるが、強い横綱がないと何か物足りなさを感じて仕方がない。その意味では、横綱北の湖の全盛時代は、本当に相撲がおもしろかった。第55代横綱北の湖は、昭和49年に21歳2ヵ月の若さで史上最年少の横綱になって以来、約10年間横綱の責務を全うした。なかでも、5場所連続優勝、年間最多勝星を記録した昭和53年前後は、まさに全盛時代であった。北の湖の魅力は、千代の富士のようなスター性はないが横綱としての強い責任感と、何といっても文句なしの強さにあった。右上手を取っての投げ、怒濤の寄りは天下一品で、北の湖が右上手を取った時点でもう勝負はついていた。その強さは、当時辛口解説で有名だった玉の

海梅吉さんをして、戦後最強の横綱と言わせしめたほどであった。

今の相撲界には圧倒的強さを誇る力士はいない。しかし可能性を持った力士はある。早く強い横綱が出現してほしいものである。そして、欲を言えば、栃若、柏鵬、輪湖と呼ばれた二大横綱がしげを削る時代が到来し、全勝同士の楽日決戦を観てみたいものである。

申し遅れましたが、この度の人事異動で統計課へ参りました。皆様に大変お世話になることと思いますが、どうかよろしくお願ひ致します。



感想

普及指導担当主事

中田 考宣

この度の定期異動により統計課勤務となり、統計いばらきを担当することになりました。

異動のたびに新しい仕事を経験することは良いことであり、必要なことでしょう。しかし、それに馴れるまでがたいへんです。

統計に関する仕事も幅が広く、この統計いばらきの編集もなかなか大変だな、というのが4月号の発行を終えた今の感想です。

文章を書くことは、やはり得意、不得意があり、上手下手はそこからくるのだと思います。私は後者であり、小学校の頃から作文・感想文のたぐいが嫌いでして、字数をうめることだけ集中しておりました。そのため後で読み返してみても意味不

明で、何を書いたのかわからないことが多かった
ように記憶しております。

学校で勉強する科目に将来役に立つものと、全く役に立たないものがあると思います。専門的に学んだものは別でしょうが、一般的に数学や物理、化学等は役に立たないものの例でしょう。しかしその反面、国語特に作文等は大事なものだったのだと今この文章を書きながら感じている次第です。

そのような理由で、またもやまとまりのない意味不明の文章になってしましましたが、これが感想です。

今後とも編集に努力いたしますので、皆様のご協力を願いいたします。

「出稿の期日がせまりひたあせり
表に出さず時間よとまれ!!」



統計課勤務になつて

分析情報担当主事 久富義信

4月の定期人事異動で、林業課から来ました。
どうぞよろしくお願いします。

統計は初めての上に、コンピュータ(システム課の汎用)と付き合わなければならぬと聞いて、かなり狼狽しましたが、根が機械好きなので地道にやっていけば、何とかなると高をくくることにしました。

前の職場は林業課で、知らない人もいるかもし

れませんが、本庁舎の4階にちゃんとあります。担当は森林国営保険(これこそ山持ちしか知らない)と森林保護(山火事担当と呼ばれていた。日立市の山火事は大変だった。)で、出張も多く、季節によっては、山歩きは大変楽しいものでした。(タラの芽・ワラビ・キノコ、etc…)

話はまるで変りますが、2年前に始めたゴルフが100の壁を迎え、今最高に“尾も白い”状況となり、最低月一ペースで行っています。ステータス会にも入会させて頂きましたので、コンペが楽しみです。何かと運動不足になりがちな昨今、ゴルフ練習場は、夜遅くまで営業しているので、家に帰ってから、のんびりと出掛けられ、時間を気にせず充分な練習ができるので、これはいいとやっているしだいです。ベストスコアはR96(46・50)で、このスコアを元に自称ハンデ24を名乗っております。

最後になりましたが、初心者マークですので、皆さんのご指導をお願い致します。



ボリュームとバランス

普及指導担当主事
阿久津 修一

先日、前職場の県立中央病院へ患者として行ってきました。久しぶりに事務室に入ってとても騒がしいことに気がつきました。ということは、統計課の事務室は静かだ。まだわずかな期間なので一部分しか見ていませんがこれが統計課の印象でした。その統計課に勤務することになりました。

〈喫煙室〉※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

よろしくお願ひします。

さて、私は果物を使ってのデザート作りを趣味の一つとしています。友人のアパートなどで小さなパーティ(単なる宴会)をするとき、お酒や食事の後に出すと評判がよく、おだてられ利用されています。パフェなら普通の喫茶店やレストランなどででてくるぐらいのものは簡単です。ただ、一つ難点があります。それは私の身長(185cm)では規格のシステムキッチンが低すぎて作り終わる頃には必ず腰が痛くなるのです。それでもデザート作りをやめないのは、手を加えると、加えただけ形が変化していくのが面白いのです。どうすれば平面的なものをボリュームある立体にできるか、決められた枠の中にバランスよく収めることができると、そうやって試行錯誤を繰り返して作り上げていく面白さがあります。今度担当させていただく仕事の一つに「グラフで見る茨城」の編集・発行があります。グラフと果物の違いはあります基本は同じだと思います。ボリュームがあつてバランスのよい誌面作りを、そしてよい仕事をしていきたいと思います。



統計課勤務になって

人口労働担当主事

小林里香

このたびの定期異動により統計課勤務になりました。前は常陸太田地方福祉事務所で、3年間勤務しました。福祉と統計では仕事の内容が全く違

うので、1ヵ月以上過ぎた今でもまだとまどっています。

でも私にとって、一番大きな変化は通勤時間です。常陸太田地方福祉事務所に通勤していた時の通勤時間は、車で15分位でした。それが4月からは1時間近くかかるようになり、毎朝今までまだ眠っていた時間に家を出でくるようになりました。そのため睡眠時間は今までより2~3時間位少なくなってしまいました。眠っている時と食べている時が一番幸せな私にとって睡眠時間が減るということはかなりキツくて、まだ体がついていけず毎日「眠い、眠い」とこぼしています。あまりの眠さに、信号待ちや渋滞のときに車の中で眠ってしまうこともたまにあります。

今はまだ一日中眠そうにしていますが、早くこの生活のリズムに慣れてがんばりたいと思いますので、よろしくお願ひします。



新顔です

消費生活担当主事

石原均

この度、新規採用で統計課勤務となりました。統計課の一員に加えていただいてからはや1ヵ月が過ぎましたが、いまだに戸惑うことが多く、グループの諸先輩方をはじめ、皆様にご迷惑をおかけする毎日で、非常に申し訳なく思っております。しかしながら、なんでも学んでゆきたいと思う気持ちだけは、誰にも負けないつもりですので、今

後とも、よろしくお願ひ致します。

私は、この3月に山形大学を卒業しました。茨城から山形大学に入学する人は多くなく、さらに茨城県職員となる人はほとんどいないと思います。そんなわけで、配属がきまって、仕事を始めても、山形の話など全然できないものと思っていましたが、この統計課には意外に山形関係者の方が多く、心強く思っております。学生時代は卓球部に所属しており、部活中心の生活が多かったように思います。卓球は、中学生の時に始めて以来、今年で人生の半分、やり続けたことになるわけですが、その間、卓球のラケットより重いものを振りまわすことはほとんどなかったので、とりあえず野球のバットにもちかえることから始め、更にテニスラケットやゴルフクラブへと華麗に転身してみたく思います。

以上、簡単な自己紹介をさせていただきましたが、どちらかというと、文章でわかっていただくなり、実物で知っていただきたいという気持ちがあります。皆様に早く覚えていただくためにも、精一杯、毎日を頑張ろうと思いますので、これから、どうぞよろしくお願ひいたします。



どうぞよろしく

人口勞働相當主事

福永幸一

県職員としての最初の勤務が統計課となりました。右も左も分からず、皆様には何かとご迷惑

惑をおかけすることとは思いますが、自分なりに努力致しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

学生の時の専攻は経済でしたので、統計とは馴染み深いところと言えそうです。統計的な裏付けなしの経済というのは甚だ頼りなく、時には事態を悪化させもします。そのような統計の仕事に携わるということに不安を感じる日々を過ごしています。

統計課ではコンピュータと付き合うことが多いですが、ゲームソフトしか扱ったことがなく、情報科学の講義を取っておけば…と今頃になって悔やんでいます。

ところで、私の趣味はおきまりの読書と映画鑑賞ですが、昨年は1日に4本映画を見たきりという情けない状況です。

スポーツが盛んな統計課の中で、私は体を動かすのが不得意な方ですので各課対抗等では戦力となり得ないでしょうが、これからサイクリングを始めようと思っています。以前、自転車で阿見や大洗、茂木などに出かけ、阿見へは2時間半で行ったという記録が残っています。

最後になりましたが、毎月勤労統計調査を担当することになり、つくづくひとりでは何も出来ないと感じています。

オタマジャクシからカエルへ

財建設物価調査会
経済研究センター部長 山室眞二



昔、灰田勝彦という人がこんな歌を歌っていた。

オタマジャクシはカエルの子

ナマズの孫ではないわいな

それが何より証拠には

やがて手が出る足が出る

これは生物学的にもそのとおりで、オタマジャクシは、カエルの卵からかえって、カエルになるまでの間の幼い時期の姿であり、誰でも知っている常識である。

もっとも、最近の都会の子供、あるいは大人でも、オタマジャクシはおろかカエルさえ実物を見ることがなかなか出来ない時代だから、常識とは言っても多分に机上のことになっているかも知れない。

と言うことは、それ以上の、たとえばその手や足はどのようにして出てくるのかという子供の質問に対して、常識でどれだけ答えられるかは疑問である。私も子供の頃には泥んこになってオタマジャクシを探って遊んだことがあるが、どのように出て来たのかの記憶はない。かつて幼い娘から質問された時、やはり困ってしまったことがある。

そこで、まだ近所に残っていた田圃からヒキガエルの卵を探ってきて飼ってみたところ、実際に面白いことがわかった。手や足が出てくることに関して言えば、足、つまり後肢の方はオタマジャクシの初期の頃から既に尾の付け根のところから生えていて、それが徐々に長く足として成長して行

ったが、手の方は一向にその気配がなく、いよいよカエルの姿になる直前になって、突然に生えてきた。

実は、それは突然に生えてきたのではなく、腹部の部分の体の中で成長していて、カエルになる直前に腹部の皮を破って出てくるというものであった。

常識で知っていることは、案外こうした外面的なものに止まり、その裏には思いもかけない真実がある。

A新聞の「新入社員諸君へ」というコラムで、○○省の広報誌に△△病院の先生が書いていたものとして、「まったくお酒を飲まない人のグループ、少量だけ飲む人のグループ、多量に飲む人のグループに分けて、長生きの程度を比較すると、少量だけ飲む人のグループが一番長生きをすることが分かった。すなわち、適度の飲酒は体に良い」ということが紹介され、そしてコラムを書いた人は、「この統計は正しいが、結論は正しいとはいえない」として、「まったく飲酒していないグループには、飲酒していて健康上の理由で止めた人が混在しているはずだから」としていた。

確かに、常識的には、適量の飲酒というのは体に良いということはよく聞く話であり、多分、医学的にもそうなのかも知れないが、長生きということは、そう単純なものではなく、適量の飲酒は一要因ではあってもすべてではない。その人の生

活態度や食生活の内容、仕事上などのストレスの程度など、様々な要因が互いに関係し合っての結果であるからだ。

先日も仕事の関係で建設労働者について、いろいろな面から統計を使って説明を試みていた。

その一つに、建設労働者の高齢化の問題があつて、国勢調査の結果から製造業などと比較をしてみたところ、思わぬ、と言うよりポンヤリ意識していたことが白日の下に晒されたようにはっきりとわかった。

常識的には我が国の労働力人口そのものが高齢化に向かい、建設労働者も例外ではなく、平成2年男子生産労働者の結果では、全産業で平均41.6歳、製造業では41.3歳、建設業では42.8歳で、10年前に比べ2、3歳高齢化していた。

多分、この程度のことは、少し統計を知っているればわかっていることだろうと思うし、建設労働者も大きな差がないように見える。しかし、その年齢別の分布を描いてみると、なんと建設業は、10年前の分布が、そのまま10年横へシフトしただけであったのに対して、他の産業では、しっかりと若年労働者が加わっていたのである。つまり、建設労働者に関しては、全体の高齢化の中で、若年労働者がなかなか加わって来ていないという事実がわかった。

若年労働不足ということも常識的によく言われていることだが、こうして、少しその常識の裏を見るということが、本質に迫るためにいかに大切であるかということ、そして統計がいかに有力な武器であるかということを痛感させられた。



■ 調査から

平成4年就業構造基本調査について

総務庁統計局統計調査部
労働力統計課

調査の概要

就業構造基本調査は、国民の就業・不就業の状態を調査することにより、全国及び地域別の就業構造を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とするもので、昭和31年の第1回調査以来、昭和57年の第10回調査まではほぼ3年ごとに、それ以後は5年ごとに実施され、今回の調査は第12回に当たります。

今回調査の特徴

近年、就業者数の増加、特に女子就業者の著しい増加や完全失業率の急速な低下により、我が国の雇用、失業情勢は安定しているものの、一部の職種においては、年齢、地域などのミスマッチによる人手不足が生じており、我が国の経済・社会情勢は人口の高齢化、外国人労働者の増加などと相まって変化してきています。

このような状況の中で、今回の調査では、従来からのねらい、①就業・不就業に関する詳細な統計を作成する、②縁辺労働者の実態を明らかにする、③就業異動の実態を明らかにする、④地域別の就業構造と地域間人口移動を明らかにするなどのほかに、更に次の点を明らかにすることとしています。

- (1) 高齢化社会に対応して、高齢者の就業・不就業の実態及び就業希望などの実態を詳細に表章する。
- (2) 共働き世帯の増加、特に女子有業者の急増に対応して、女子有業者の家族構成とのかかわり、就業希望などの実態を詳細に表章する。
- (3) 労働力不足の状況に対応して、就業・不就業にかかる環境の実態を明らかにする。

調査の時期

平成4年10月1日現在で行います。

調査地域

全国の3,384市町村(平成4年4月1日現在)のうち、2,831市町村です。

調査対象

約43万世帯に居住する15歳以上の世帯員約108万人です。

調査事項

次の事項について調査します。

- (1) 世帯の年間収入等世帯に関する事項
- (2) ふだんの就業状態等個人の属性に関する事項
- (3) 主な仕事、副業等有業者に関する事項
- (4) 就業の希望意識等無業者に関する事項
- (5) 前職に関する事項

調査の方法

調査は総務庁統計局—都道府県—市町村—指導員—調査員—世帯の系統により、調査員が世帯に調査票を配布し、調査世帯の15歳以上の世帯員又は世帯主が記入する方法及び世帯主の申告に基づき調査員が記入する方法によって行います。

集計内容

全国、地方、都道府県、県庁所在都市、政令指定都市(特別区を含む。)及び大都市圏別に次の事項について集計します。

- (1) 就業状態に関する総括的な事項
- (2) 副業に関する事項
- (3) 有業者の就業希望意識に関する事項
- (4) 無業者の就業希望意識に関する事項
- (5) 就業経歴、就業異動に関する事項
- (6) 世帯及び家族構成に関する事項

結果の公表

集計後速やかに速報を公表し、平成5年度内に「全国編」、「地域編」及び「解説編」の報告書を刊行していくこととしています。

結果の利用

- (1) 中長期にわたる経済計画及び雇用基本計画

- の策定のための基礎資料として用いられます。
- (2) 経済白書、労働白書において、就業構造の現状と将来に関する分析の際の基礎資料として用いられます。
- (3) 青少年婦人等特定層の就業構造分析の基礎資料として用いられます。
- (4) 高齢者の雇用政策の基礎資料として用いられます。
- (5) 国民経済計算における国民所得推計の基礎資料として用いられます。
- (6) 地域人口の推計の基礎資料として用いられます。
- (7) 土地整備と地域就業構造との関連等の分析の基礎資料として用いられます。

平成4年全国物価統計調査について

総務庁統計局統計調査部
経済統計課

調査の概要

全国物価統計調査は、国民の消費生活において重要な支出の対象となる商品・サービスの価格や料金を調査し、地方、都道府県別等の消費者物価地域差指数を算出することにより物価の地域間格差を明らかにするとともに、様々な商品の小売価格や卸売価格又はサービスに対する料金を地域の特性、店舗の形態や規模、取引の形態別等にとらえて、これらの特性又は属性による価格差及び価格分布を明らかにすることとしています。

今回調査の特徴

今回の調査では、様々な属性を持つ世帯の立場に立った地域差指数を算出し、各世帯属性別

の消費構造と物価の地域間格差の関係を明らかにすることとしています。具体的には、「世帯主の年齢階級別消費者物価地域差指数」及び「住居の所有関係(持家世帯、民営借家世帯等)別消費者物価地域差指数」を算出することとしています。

調査の種類

調査は、小売調査及び卸売調査の2種類から成っています。

調査の期日

- (1) 小売調査
平成4年11月19日現在で行います。ただし、生鮮食料品の価格については、11月18日、19日及び20日の3日間行います。

■ 調査から

(2) 卸売調査

平成4年11月9日現在で行います。

調査地域

- (1) 小売調査の調査市町村は、全国の3,246市町村(平成2年10月1日現在)のうち、東京都区部を含む727市町村です。
- (2) 卸売調査の調査市は、都道府県庁所在市(ただし、福島県、埼玉県、東京都、三重県及び山口県にあっては、郡山市、大宮市、東京都区部、四日市市及び下関市とします。), 川崎市及び北九州市です。

調査の対象

調査市町村内に所在する調査品目(商品・サービス)を販売又は提供している事業所のうち、総務庁長官の定める方法に基づいて、小売調査においては市町村長が、卸売調査においては都道府県知事が選定する事業所とします。

調査品目

- (1) 小売調査の調査品目は、小売物価統計調査(指定統計第35号)の調査品目の中から、消費者物価指数の平成2年基準全国ウエイトとともに総務庁長官が定める方法により選定した288品目とします。

調査品目は調査を担当する者により、次の3種類に分けられます。

- ア 調査員が調査する品目
イ 市町村長が調査する品目
ウ 総務庁長官が調査する品目

- (2) 卸売調査の調査品目は、前項(1)により選定した品目のうち、流通形態、ウエイト等とともに総務庁長官が定める方法により選定した38品目とします。

調査事項

調査事項は次のとおりです。

(1) 小売調査

- ア 事業所の基本的属性に関する事項
(ア) 店舗の名称
(イ) 店舗の形態
(ウ) 売場面積又は座席数
(エ) 従業者数
(オ) 取扱商品の種類又は営業種目
イ 商品・サービスの小売価格又は料金、銘柄等に関する事項
(ア) 小売価格、サービス料金及び家賃
(イ) 小売価格及びサービス料金の銘柄に関する事項
(ウ) 家賃の銘柄に関する事項
① 所在地
② 建築の時期
③ 構造
④ 建て方
⑤ 延べ面積
⑥ 室数
⑦ 礼金・敷金の有無
(エ) 商品の仕入先の都道府県名及び市区町村名(卸売調査品目のみ)

(2) 卸売調査

- ア 事業所の基本的属性に関する事項
(ア) 店舗の名称
(イ) 本所・支所の別
(ウ) 店舗の形態
(エ) 従業者数
(オ) 同一都道府県内への販売割合
(カ) 決済方法
(キ) 取扱商品の種類
イ 商品の卸売価格、販売数量、銘柄等に関する事項

する事項

- (ア) 販売価格
- (イ) 販売数量
- (ウ) 主な仕入先
- (エ) 主な仕入先の都道府県名
- (オ) 銘柄に関する事項

調査の機関及び系統

(1) 小売調査

ア 調査員が調査する品目

総務庁長官—都道府県知事—市町村長—
指導員—調査員—調査客体

イ 市町村長が調査する品目

総務庁長官—都道府県知事—市町村長—
調査客体

ウ 総務庁長官が調査する品目

総務庁長官—調査客体

(2) 卸売調査

総務庁長官—都道府県知事—調査員—調
査客体

調査の方法

- (1) 小売調査は、「小売店舗(事業所)調査票」及び「小売価格調査票」又は家賃(民営)調査票」を用いて行います。これらの調査票には、事業所の代表者又は管理責任者が記入します。
ただし、市町村調査品目及び総務庁調査品目については、それぞれ市区町村長及び総務庁長官が、調査票を用いて事業所の代表者又は管理責任者に質問することにより行います。

- (2) 卸売調査は、「卸売店舗(事業所)調査票」及び「卸売価格・数量等調査票」を用いて行います。これらの調査票には、事業所の代表者又は管理責任者が記入します。

集計事項及び方法

(1) 集計事項

ア 小売調査

次の事項について、全国、地方、都道府県、都市階級等の別に集計します。

- (ア) 世帯属性、地域別の消費者物価に関する事項

(イ) 地域別的小売価格に関する事項

- (ウ) 事業所の基本的属性別的小売価格に関する事項

イ 卸売調査

次の事項について、調査49市又は49市計別に集計します。

- (ア) 事業所の基本的属性別販売価格及び販売数量に関する事項

(イ) 事業所の仕入又は販売先別の販売価格及び販売数量に関する事項

(2) 集計方法

集計は、総務庁統計センターにおいて行います。

結果の公表

調査結果は、集計完了次第逐次結果報告書等をもって公表します。

なお、速報公表は平成5年10月とします。

結果の利用

調査の結果は、物価施策及びその他の基礎資料として利用されます。例えば、

- (1) 給与のうちの地域給の算定資料
- (2) 地域最低賃金の算定資料
- (3) 大規模小売店舗の出店等商業地区の問題解決のための情報
- (4) 物資流通施設の整備計画等の策定資料として用いられます。